

# 株主様向け 会社説明会

## 2012年6月27日

**JV400-130/160LX**



**UVJF-3042HG**  
UV PRINTER



**TS500-1800**



株式会社 ミマキエンジニアリング  
**JASDAQ** 証券コード: 6638

**Mimaki**<sup>®</sup>

# 38期(13年/3月期)市場環境予測

## 円高の定着

- 不安定ながらも、年間を通じ継続的な円高を想定。
- 社内為替レート 1ユーロ=100円、1米ドル=80円

## SG市場予測

- 先進国市場: デジタル化進展による買い替え需要が主となり、環境に優しい省エネマシンニーズが高まる。
- 新興国市場: 依然として低ランニングコストのソルベントインクジェットプリンタの高画質化・高信頼性のニーズが高まる。

## IP・TA市場予測

- デジタルプリントにおける高速化・無人化・多様性等のニーズが高まる。
- デジタル化浸透比率の高まりによる市場の拡大、急成長に期待。
- 布を洗う必要のない昇華転写方式の染色が特に増加する。

# 38期(13年/3月期)事業重点取り組み

## 先進国の要請に応える新製品の投入

- Eco要求⇒水性ラテックスインク、ソルベントUVインク搭載プリンタの投入。
- 高速・無人要求⇒SG・IP・TA各市場向け高速フラグシップ機の投入。

## 新興国市場向け売上を前期比1.5倍に拡大

- 1Q投入の3.2mソルベント機 SWJ-320の販売立ち上げ。
- 新興国における各販売子会社の販売・保守体制を強化。

## プラットフォーム化設計の推進

- エントリー機、ハイプロダクション機それぞれに、多用途展開を図った新製品群を市場に投入。
- プリンタの前工程・後工程を含めたシステム化を行う

## 中国製造子会社の生産規模の増強

- 中国生産への移管モデルを増やす。国内生産規模は維持する。
- 為替変動に強い体質への転換を図り、コスト競争力を高める。

# ミマキグループのグローバル展開

Mimaki

【従業員数】 日本国内:612名 海外:441名 合計:1053名

(2012年3月31日現在)



**PT. MIMAKI INDONESIA**  
**2012年4月営業開始**



## 御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司



### 製造風景1

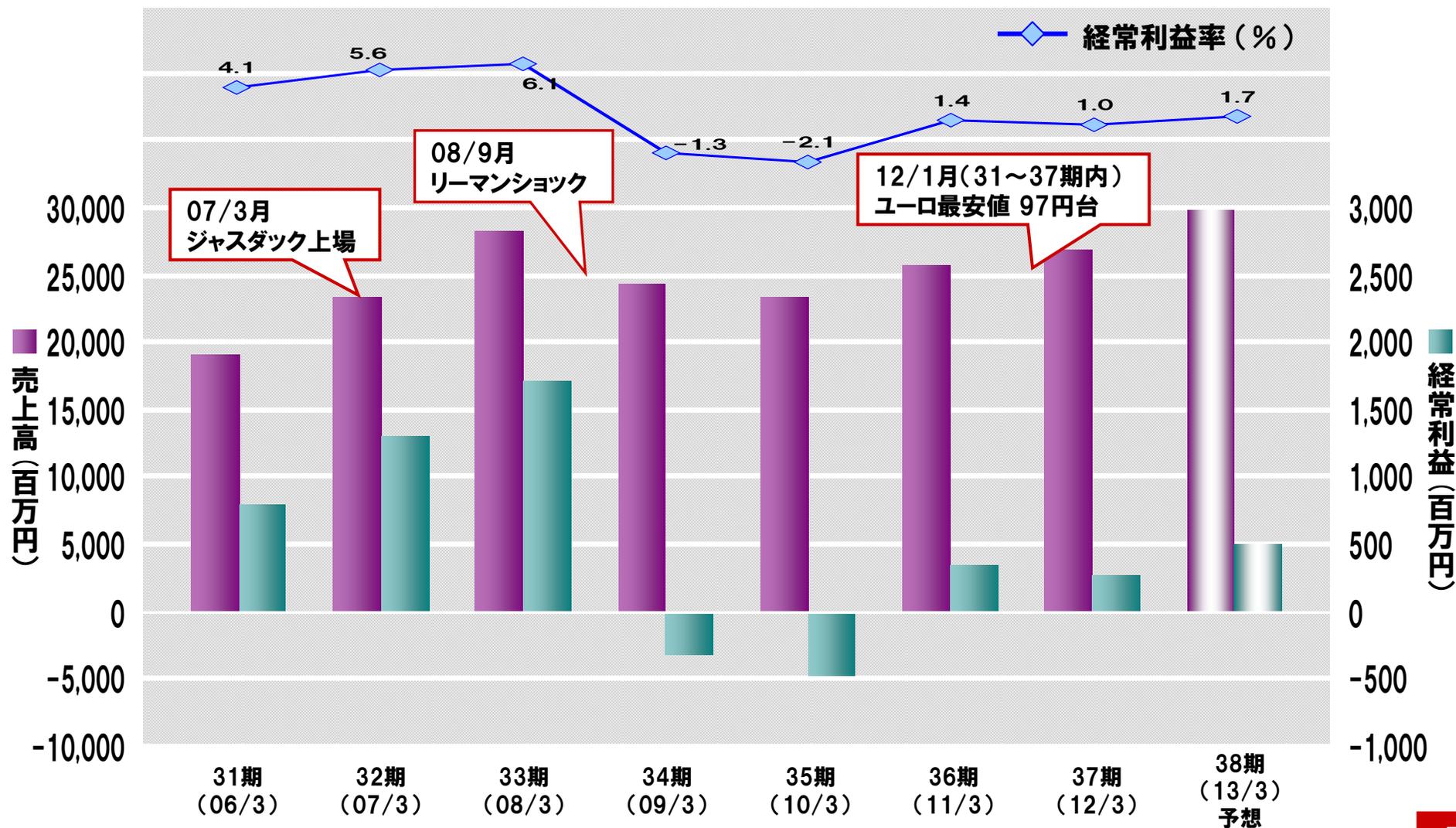


### 製造風景2



# 連結売上高推移

【2013年3月期予想】 売上高 29,877百万円  
 経常利益 504百万円



# 連結業績予想

(百万円)	37期 (12/3) 実績	38期(13/3)予想			対37期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	26,876	14,345	15,532	29,877	3,000	11.2%
営業利益	419	260	375	635	215	51.5%
経常利益	274	193	311	504	229	83.6%
当期純利益	214	139	186	325	110	51.5%

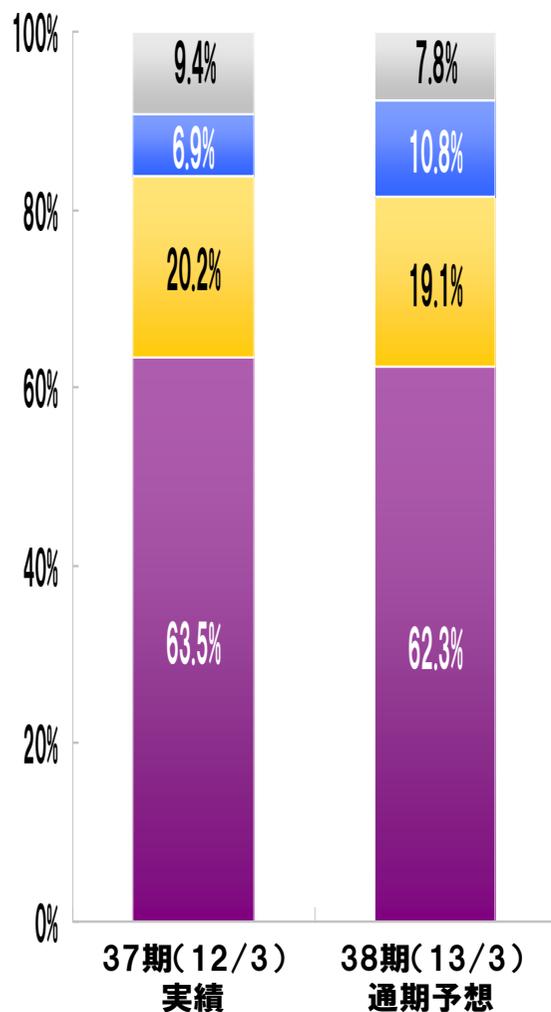
## 為替レート(円)

米ドル	79.08	80.00	0.92	1.2%
ユーロ	108.97	100.00	△8.97	△8.2%

37期実績に基づく為替感応度(理論値)  
 (為替レート1円円高による営業利益影響額:12か月相当額)  
 米ドル:△7百万円  
 ユーロ:△67百万円

# 機種群別売上高予想

【構成比率】



(百万円)	37期 (12/3) 実績	38期(13/3)予想			対37期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
SG市場向け	17,071	9,107	9,510	18,617	1,545	9.1%
IP市場向け	5,428	2,613	3,083	5,697	269	5.0%
TA市場向け	1,860	1,467	1,769	3,237	1,377	74.0%
その他	2,517	1,156	1,168	2,324	△192	△7.6%
合計	26,876	14,345	15,532	29,877	3,000	11.2%

SG:先進国、新興国市場ニーズに対応し、マーケットシェアの拡大  
 IP:UV硬化インクの特徴を活かす製品の充実、製品の特徴に合う用途別、多展開  
 TA:無人運転可能な高信頼性プリンタ500シリーズのラインナップにより、対37期比74%アップを図る

SG市場向け IP市場向け TA市場向け その他

# SG(広告・看板)市場向け 事業戦略 **Mimaki**

## 商品戦略

- ◆ プラットフォーム化したベースマシンで、多展開を狙うための**商品ラインナップを充実**
- ◆ 環境に負荷を与えないMimaki**グリーンテクノロジー**としての**水性ラテックスインクの開発**

## 販売戦略

- ◆ 担当エリア別に**顧客に密着するチャンネル**と**全国レベルで販促活動を水平展開できるチャンネル**を揃えた**ミックス販売チャンネルの構築**
- ◆ **新興国販売チャンネルの強化**と**市場情報収集力UP**

# SG(広告・看板)市場向け

Mimaki®

## ◆ JV400-130/160LX

世界初ラテックス白インクを搭載。水性ラテックスインクにより、無臭・低VOC(揮発性有機化合物)・省エネ硬化を実現しながら、吸収層のないPET/塩ビフィルム、布、木材等に、滲みのないプリントを実現。サインの表現力をアップ。



JV400-130/160LX



JV400-130/160SUV

## ◆ JV400-130/160SUV

世界初溶剤UVインクを搭載。溶剤の高光沢性・高堅牢性に加え、UVの速乾性を併せ持ったドリームインクを新規開発。塩ビ、ターポリンを用いたサイン現場に強力な生産性と機能性を提供。

## ◆ SWJ-320 S2/SWJ-320 S4

新興国サイン市場のボリュームゾーンに直球勝負を挑む、低価格3.2m幅溶剤インクジェットプリンタ。中国生まれの中国生産でありながら、要所は日本製部品を用い、低価格と高画質を両立。



SWJ-320 S2  
/SWJ-320 S4

# IP(産業用途)市場向け 事業戦略

## 商品戦略

- ◆ UJF-3042シリーズの用途に合わせた機種開発で、多方面への展開を図る
- ◆ 工業分野での生産性アップ、無人化に向けた自動化システムを開発
- ◆ プリント工程の前処理・後処理装置を含めた商品の開発

## 販売戦略

- ◆ スクリーン印刷・パッド印刷市場へのデジタル・オンデマンド生産の販促強化
- ◆ プリントノウハウを提案できる実践営業力の強化

## ◆ **UJF-3042HG**

好評をいただいているUJF-3042シリーズに、高さ150mmまでの素材にプリント可能なHG(High Gap)モデルを追加。さらにヘッド数を増やし、6色+白、4色+白+クリアにインクセットが可能。1台で多様なプリントニーズへの対応を実現。



**UJF-3042HG**  
UV PRINTER

# TA(布地・衣類)市場向け 事業戦略 **Mimaki**

## 商品戦略

- ◆ **高画質・高生産性**を実現する捺染プリンタの開発
- ◆ **無人運転**で長時間稼働できるデジタル捺染システムの開発
- ◆ **インク販売**でビジネスチャンスが広がるソリューション提供で、**他社の保有技術**とのコラボレーションを組む

## 販売戦略

- ◆ **テキスタイル生産地**へのプリンタソリューション提供に着手し、**需要を掘り起こす**
- ◆ **インク販売**を中心とした**アフターマーケット**ビジネスの拡大
- ◆ **新興国捺染産地**への**量産機販促強化**

# TA(布地・衣類)市場向け

Mimaki®

## ◆ *TS500-1800*

最速150m<sup>2</sup>/時の圧倒的な生産性を誇り、ヘビーユーザーの要求に応える安定性・低ランニングコストを兼ね備えた、「生産設備」を言えるフラグシッププリンタ。先進国・新興国を通じて成長著しいソフトサインやスポーツアパレル市場の標準機を目指す。



*TS500-1800*



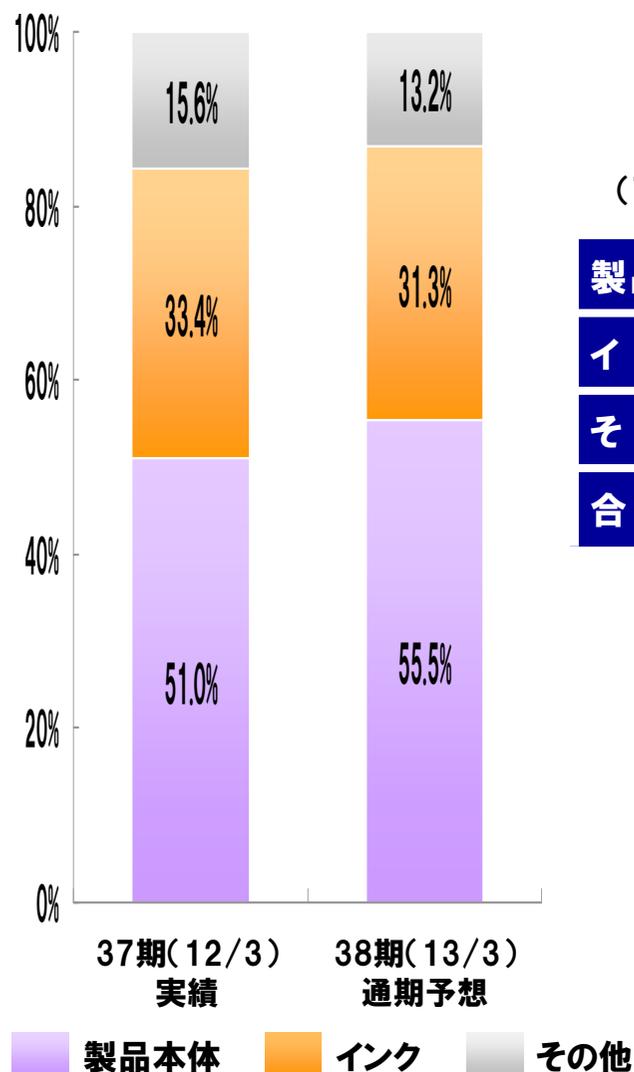
*Tx500-1800DS*

## ◆ *Tx500-1800DS*

TS500モデルをポリエステル生地へのダイレクトプリントを可能とし、テキスタイル生地 of 捺染からソフトサインのプリントまで、昇華転写インクによるダイレクト染色の現場に最適。転写紙が不要のため、環境負荷軽減に貢献。

# 品目別売上高予想

【構成比率】



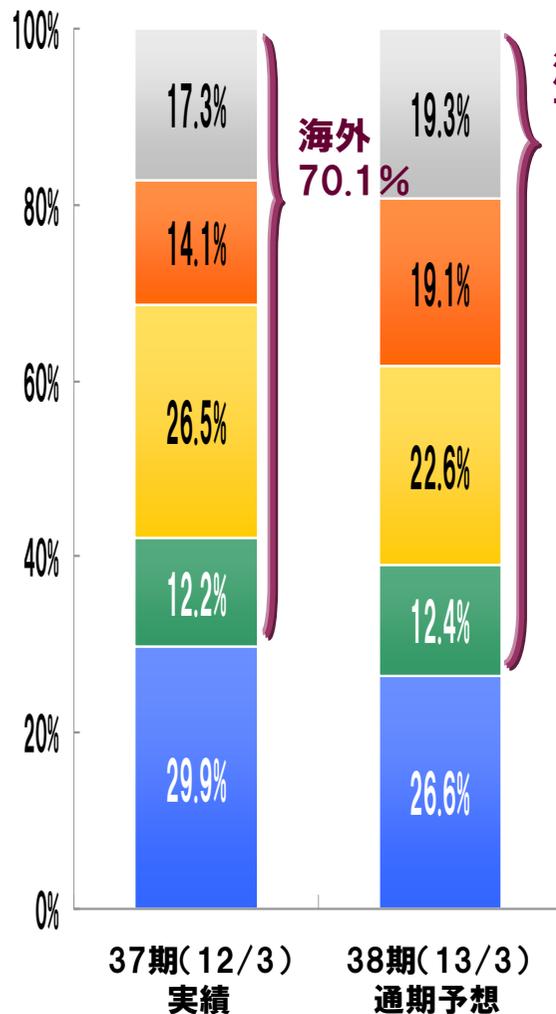
(百万円)	37期 (12/3) 実績	38期(13/3)予想			対37期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
製品本体	13,712	7,814	8,767	16,581	2,869	20.9%
インク	8,977	4,581	4,770	9,351	374	4.2%
その他	4,187	1,949	1,993	3,943	△243	△5.8%
合計	26,876	14,345	15,532	29,877	3,000	11.2%

製品本体:先進国、新興国向け新製品の拡販による増加を見込む

インク:製品本体に対応した新インクの販売増加を見込む

# エリア別売上高予想

【構成比率】



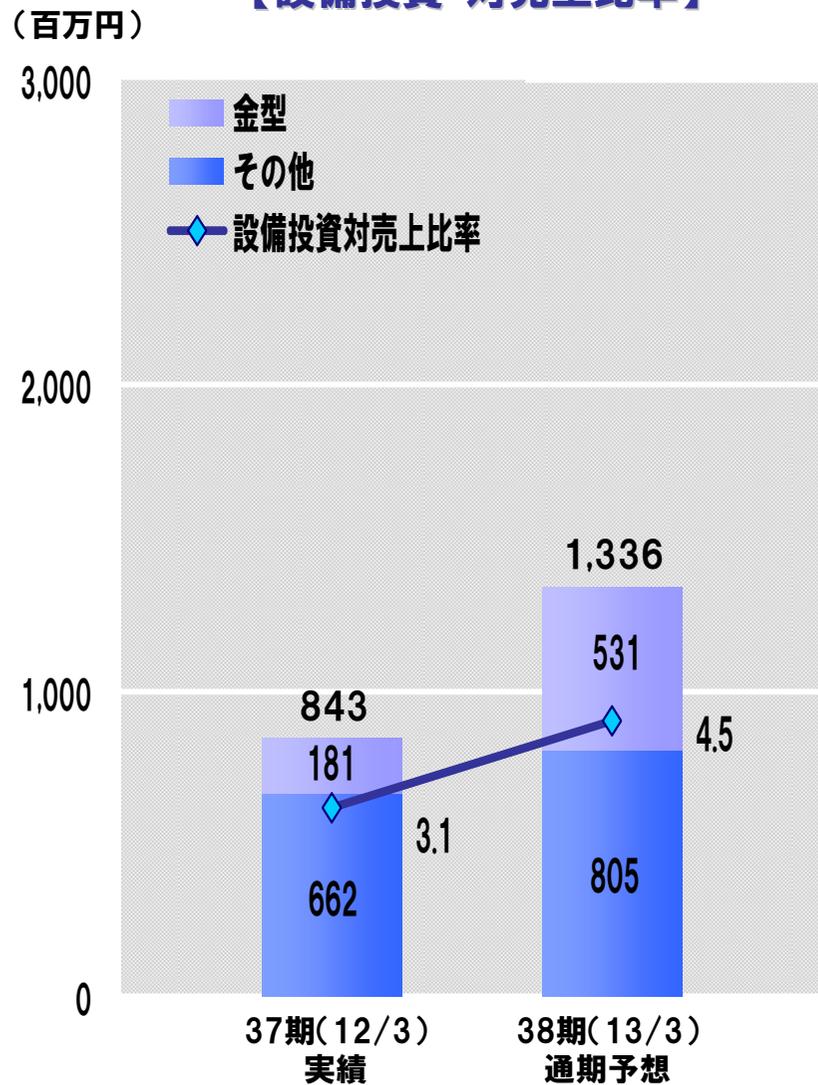
(百万円)	37期(12/3)実績	38期(13/3)予想			対37期	
		上期予想	下期予想	通期予想	増減額	増減率
<b>国内</b>	8,032	3,793	4,168	7,961	△70	△0.9%
<b>北米</b>	3,289 (41.5M\$)	1,814 (22.6M\$)	1,887 (23.5M\$)	3,701 (46.2M\$)	412 (4.6M\$)	12.5% (11.2%)
<b>欧州</b>	7,126 (65.3M€)	3,204 (32.0M€)	3,533 (35.3M€)	6,738 (67.3M€)	△387 (1.9M€)	△5.4% (3.0%)
<b>アジア</b>	3,776	2,664	3,041	5,706	1,929	51.1%
<b>その他</b>	4,651	2,867	2,900	5,768	1,116	24.0%
<b>合計</b>	26,876	14,345	15,532	29,877	3,000	11.2%

※上表中の、北米、欧州の下段( )の数値は、現地通貨ベース

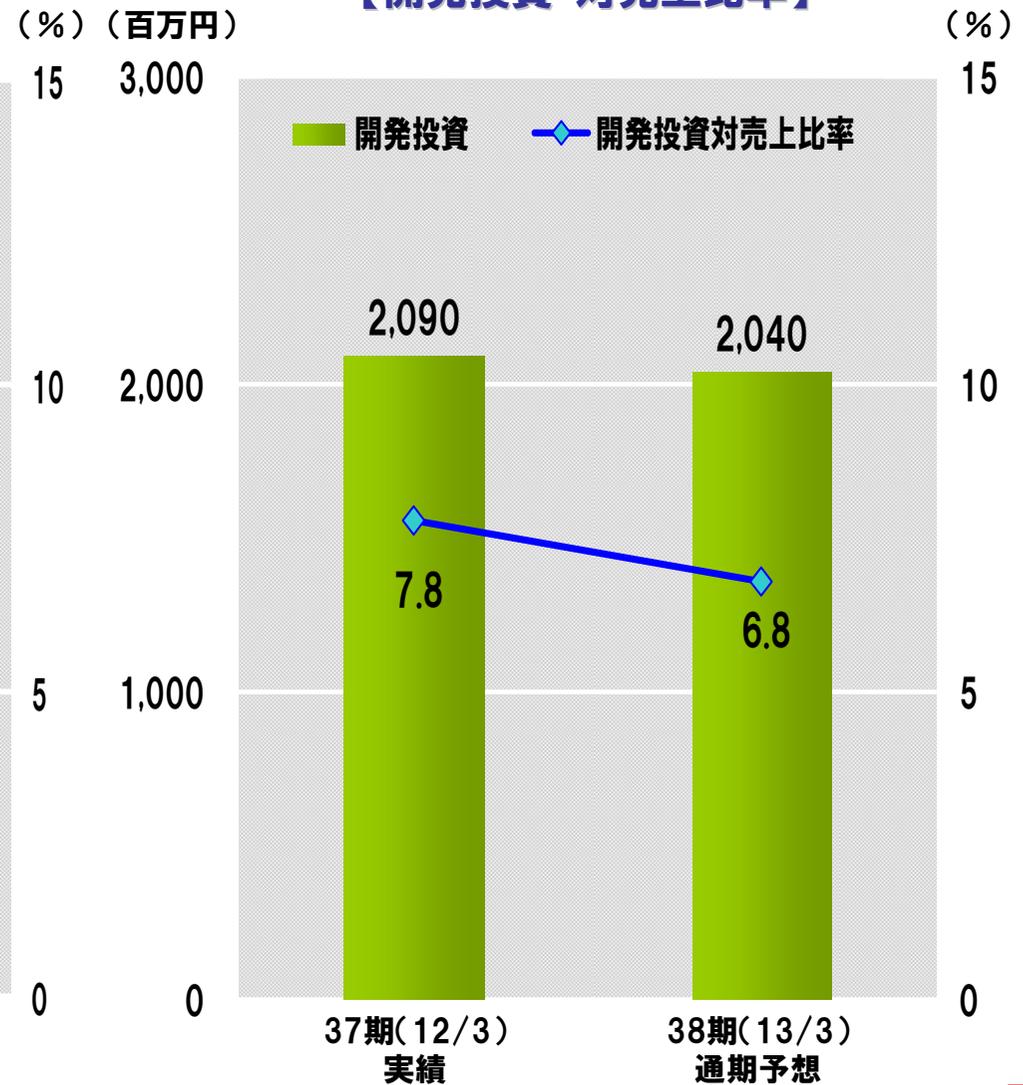
国内 北米 欧州 アジア その他

# 設備投資、開発投資予想

【設備投資・対売上比率】

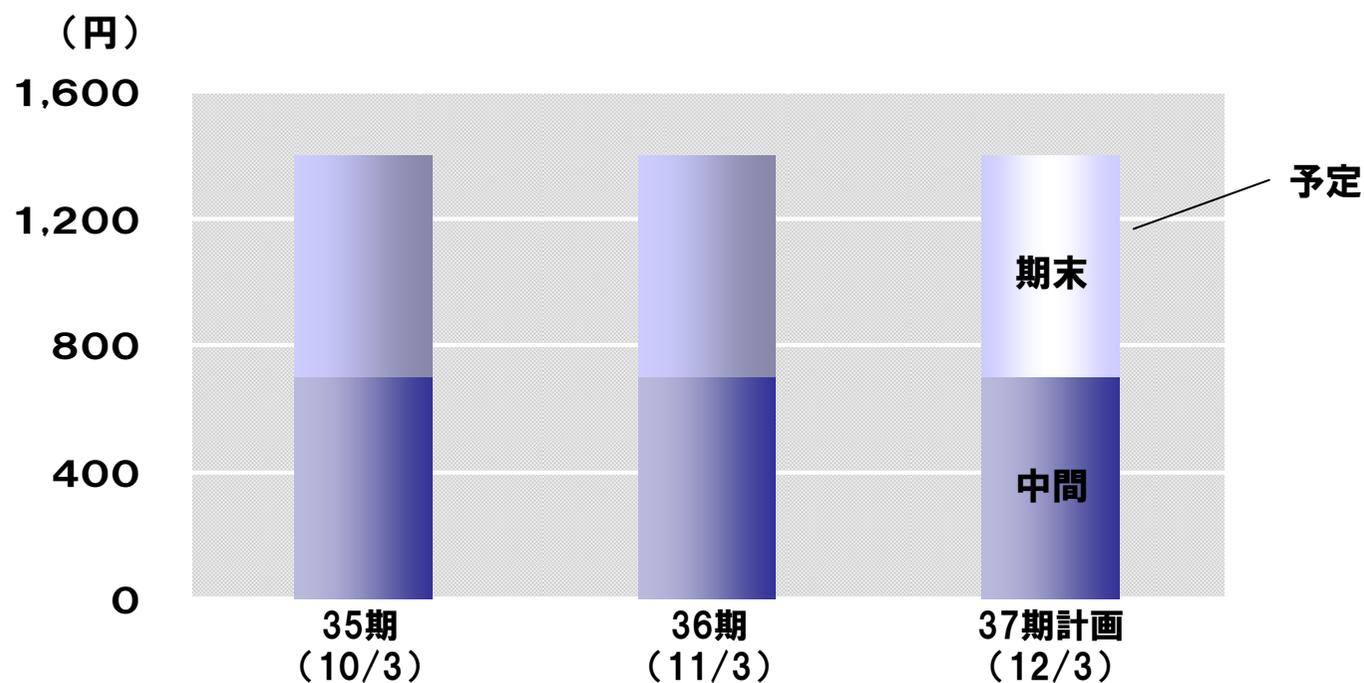


【開発投資・対売上比率】



# 配当方針

株主への還元を第一として、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。



## 本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

IR・広報部

TEL 0268 (64) 2281

E-mail [mimaki-ir@mimaki.jp](mailto:mimaki-ir@mimaki.jp)

### 〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。